

倉敷市へ「西日本豪雨災害義援金」を贈呈しました。

全国の生協から寄せられた、1億166万円

7月の西日本豪雨での甚大な被害に対し、日本生活協同組合連合会の呼びかけで、全国の生協で「西日本豪雨緊急支援募金」が取り組まれました。9月までに寄せられた心温まる募金は、岡山に配分された2億8,530万9,403円を11月に岡山県の伊原木知事に岡山県への義援金として贈呈しました。

その後、「西日本豪雨緊急支援募金」の最終締切の12月までに、さらに2億506万円もの募金が全国の生協から寄せられ、そのうち、岡山に配分された募金のうち、1億166万円を、県内で最も被害が大きく、復旧や生活再建に時間がかかっている倉敷市へ贈呈しました。

1月30日(水)に、倉敷市役所の応接室にて、義援金贈呈式が行われ、倉敷市の伊東香織市長へ日本生活協同組合連合会の新井ちとせ副会長から贈呈の言葉とともに目録が手渡されました。

伊東香織倉敷市長からは、「おかやまコープさんからの発災直後の物資支援も大変うれしかったです。この貴重な義援金は被災者の復興のために有効に遣わせていただきます。ありがとうございました。」とお礼の言葉をいただきました。

また、同日に、倉敷市社会福祉協議会を訪問し、配分された募金から、支援金として400万円を贈呈しました。この支援金は、倉敷市社会福祉協議会が地域復興の支援として実施する真備町各地の地区社会福祉協議会のイベント開催費用として、また、建設仮設住宅の新たなコミュニティ形成のために必要な活動経費やサロン活動等の経費として活用されます。



新井ちとせ副会長と伊東香織倉敷市長



倉敷市社会福祉協議会虫明正雄会長と新井ちとせ副会長